

様式（法第10条第1項関係）

2022年度 活動計算書

2022年 4月 1日から2023年 3月 31日まで

NPO法人 えひめ認知症予防クラブ

科 目	金 額 (単位：円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	69,000		
.....		69,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	92,000		
施設等受入評価益	0		
ボランティア受入評価益	55,000		
.....		147,000	
3 受取助成金等			
市補助金			
財団助成金			
.....		0	
4 事業収益			
認知症予防啓発事業収益	210,000		
認知症予防活動事業収益	189,701		
人材育成事業収益	0		
.....		399,701	
5 その他収益			
雑費	6,620		
総会費(懇親会費込み)	0		
受取利息	0		
.....		6,620	
経常収益計			622,321
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給与			
.....			
人件費計	0		
(2)その他経費			
謝金	38,000		
ボランティア受入評価費用	25,000		
旅費交通費	5,000		
通信・運搬費	27,880		
支払い手数料	59,000		
消耗品費	111,106		
施設使用料	81,430		
図書費	0		
.....			

その他経費計	347,416		
事業費計		347,416	
2 管理費			
(1)人件費			
ボランティア受入評価費用	30,000		
給与			
.....			
人件費計	30,000		
(2)その他経費			
通信・運搬費	22,870		
印刷製本費	10,114		
施設使用料	50,000		
消耗品費	4,150		
web管理料	120,000		
広告宣伝費	20,000		
.....	0		
その他経費計	227,134		
管理費計		257,134	
経常費用計			604,550
当期経常増減額			17,771
III 経常外収益			
1 固定資産売却益			
.....			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損			
.....			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			17,771
前期繰越正味財産額			1,904
次期繰越正味財産額			19,675

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 設立当初の事業年度及び翌事業年度の活動予算書はそれぞれ別に作成する。
- 3 設立時の資金がある場合は、設立当初の事業年度に設立時正味財産額としてその額を記載する。翌事業年度以降は、前年度の活動予算書に次期繰越正味財産額として掲げた額を、前期繰越正味財産額として記載する。
- 4 事業費及び管理費は、それぞれ人件費及びその他経費に区分したうえで、形態別に表示する。
- 5 特に、経常費用の規模（事業費＋管理費）でみた特定非営利活動に係る事業の割合、経常費用額に占める管理費の割合等は、特定非営利活動を行うことを主たる目的とすること、営利を目的としないものであることという法定要件への適合性の判断材料となる。
- 6 2部作成する。

